

令和6年度 シラバス

教科名	地理歴史		教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）
科目名	政治経済	選択	副教材	政治・経済ノート (第一学習社)
履修学年	2 学年 I 型	単位数		
科目の目標				
<p>(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。</p>				
観点	評価の観点の趣旨			
知識技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。			
思考判断表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している			
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている			
学習方法				
<p>(1) 政治・経済ノートを定期的に提出して下さい。</p> <p>(2) iPad・パソコンを活用しての調べ学習を行います。</p> <p>(3) レポートの課題を課します。期日までに提出して下さい。</p> <p>(4) 他教科・他科目と連携して、発表を行います。</p>				

内容のまとめりごとの評価規準

科目：政治経済

		地理歴史	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	現代日本の政治経済	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちの関わりについて理解する。 政党政治や選挙、国民の政治意識や政治行動の特徴などを理解する。 三つの経済主体の活動と、経済循環における役割について、理解している。 財政の基本的なしくみや役割、租税の意義やその用途について理解する。 金融のしくみや役割、日本銀行の金融政策、金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。 日本の社会保障制度について、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め幅広い視点から考察する。 自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察、構想・表現する。 若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者など最近の労働問題を様々な視点で考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 「経済活動と福祉の向上」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	
小単元等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	日本国憲法と現代政治のあり方	小テスト	小テスト	振り返りシート 授業プリント ワークノート 発表	9 時間
(2)	望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方				3 時間
(3)	市場経済の機能と限界				6 時間
(4)	持続可能な財政及び租税のあり方				4 時間
(5)	金融を通じた経済活動の活性化	小テスト	小テスト		4 時間
(6)	経済活動と福祉の向上				4 時間
(7)	単元のまとめ	1 学期期末考査 2 学期中間考査	1 学期期末考査 2 学期中間考査		4 時間
2	現代日本の諸課題の研究	<ul style="list-style-type: none"> 諸課題の探究にあたって、日本社会の動向に着目したり、国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。 	
小単元等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)		調べ学習	レポート	レポート	5 時間 5 時間
3	現代の国際政治・経済	<ul style="list-style-type: none"> 21世紀の国際社会の動向について把握するとともに、世界情勢がどのように変化しているのか理解する。 平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について、理解している。 国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。 国際収支の基本的な構成を把握しながら、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 国際経済における日本の地位について、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際法の果たす役割について、国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて、将来、国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か、多面的・多角的に考察し、表現している。 グローバルイノベーションにともなうヒト、モノ、カネの国際的な移動が、国際経済に与える影響について、考察する。 先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら、日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「国際法の果たす役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 「国際経済において求められる日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	
小単元等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)	国際法の果たす役割			振り返りシート 授業プリント ワークノート 発表	5 時間
(2)	国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	小テスト	小テスト		3 時間
(3)	相互依存関係が深まる国際経済の特質		発表		5 時間
(4)	国際経済において求められる日本の役割		発表		6 時間
(5)	単元のまとめ	2 学期期末考査 学年末考査	2 学期学年末考査 学年末考査		4 時間
4	国際社会の諸課題の研究	<ul style="list-style-type: none"> 既習分野の成果の上立って、国際社会の諸課題について探究し、さまざまなICTや聞き取りなどによって調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸課題の探究にあたって、国際社会の動向に着目したり、諸外国における取り組みや、国際連合における持続可能な開発のための取り組みなどを参考にしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。 	
小単元等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	授業時間数
(1)		調べ学習	レポート	レポート	8 時間 8 時間
合計時数					70 時間